

令和 6 年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	PD Place		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	地域在住パーキンソン病者とそのパートナーの健康増進事業		
事業の目的	パーキンソン病当事者とパートナーに対する健康増進活動を行い、疾病の進行予防や生活の質の向上を図る。		
事業概要	本事業は、パーキンソン病当事者とパートナーに対して言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、公認心理師とダンスインストラクター等の各専門家が参加し、支援しながら、健康増進活動を月に1回の頻度で実施した。内容は、①体調確認、②準備体操あるいは発声と口腔の運動、③姿勢調整と運動、④参加者同士での情報交換と運動間の水分補給・トイレ休憩で構成し、90分程度行った。2024年度の参加者数は130名であった。		
成果や課題	活動は年間予定の通り全て行うことができた。活動後のアンケート調査では、全ての参加者が本活動を有意義と感じ、今後も継続を希望している（添付資料）。今年度の参加者は130名と、昨年度の102名と比較して27%増加したものの、目標の180名の7割強にとどまった。パーキンソン病は進行性疾患であり、障害の進行に伴う施設入所や、転倒骨折による入院などにより参加できなかった当事者がいたことが影響したと考えられ、2025年度に検証する必要がある。		
今後の展望	2024年度に新規に活動に参加された方が8名であった。神奈川県相模原市での開催であるが、東京都世田谷区や横浜市に在住の方の参加など遠方からの参加があった。アンケート調査では、活動の回数を増やしてほしいという希望も聞かれている。これらは本活動の必要性和妥当性を示すものと考えられる。今後、活動数や活動場所を増やすためには、スタッフ数と活動資金の確保が課題であり、自主財源の確保や県や市との連携を行っていく。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			
			